

アズマヒキガエル

捕獲体験学習会

主催：旭川市 共催：上川総合振興局

北彩都ガーデン 4月25日（金）

5月 9日（金）※講座あり

5月10日（土）※講座あり

東部中央公園 4月26日（土）

神楽岡公園 5月16日（金）

※申込者数が一定数に満たない場合や天候（荒天、低温等）によっては中止・順延となる可能性があります。

時 間 5/9, 5/10 19:00~21:00(講座あり)
その他の日程 19:30~21:00

講座講師 北海道教育大学旭川校 准教授 奥寺 繁 氏

持ち物・服装 懐中電灯、軍手、雨合羽、長靴、汚れてもよい服装

集合場所 神楽岡公園：緑のセンター
北彩都ガーデン：ガーデンセンター
東部中央公園：公園駐車場（テニスコート近く）

参加上限 各日20人まで（先着順）

内 容 アズマヒキガエル講座（講座ありの場合）
公園内でアズマヒキガエル捕獲体験

申込方法 申込フォームから申し込み または
下記担当まで電話

担 当 旭川市環境総務課 0166-25-5350

申込フォームはこちら



指定外来種アズマヒキガエルについて

アズマヒキガエルは本州に広く分布しますが、北海道においては、津軽海峡を越えて人為的に持ち込まれた外来種です。北海道生物多様性保全条例に基づく「指定外来種」として、次のとおり取り扱うよう定められています。



1. 野外に放つことを禁止。
2. 飼養等する場合は「特定飼養等施設」に収容する。
3. 販売業者は指定外来種の購入者に対し、上記2点について説明する。

なお、指定外来種を野外に放つこと等の行為は、中止命令を受けることなどがあり、違反すると、罰則（30万円以下の罰金）を受けることがあります。

アズマヒキガエルの特徴

- ずんぐりした体形の国内最大級のカエル。（頭胴長 8～16cm）
- 目の後方に大きな分泌腺をもち、身を守るために白い毒液を汗のように分泌することがある。毒液に素手で触ると手が荒れることがある。
- 背面に多数の丸い小隆起、腹面に白く不規則な小黑斑をもつ。
- 長いひも状のゼリーに包まれた卵（10、000 個程度）を産む。ふ化までに要する期間は、7～10 日。

アズマヒキガエルの行動

- 主に陸上で生活し、極端な乾燥下でなければ生存可能。（水辺を必要とするのは幼体まで）
- 昼間は暗い場所（石の間や植え込みの中など）で眠り、夜になると動き出す。（夜行性）
- 地面を這って移動し、昆虫・ミミズなど動くものは何でも食べる。ジャンプ力が弱い。
- 春に冬眠から覚めると、池や水たまりなどの産卵場所へ移動する。
- 体が大きい割に鳴き声は比較的弱く、「クックックッ・・・」と聞こえる。
- 繁殖行動を終えた個体は産卵場所から分散し、もとの陸上生活に戻る。